

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ

事業報告書

第7期

自 2022年10月1日

至 2023年9月30日

1. 患者向け支援の実施

- ① 個人面談：医療機関内、外部会議室、ブリッジ事務所、メール、電話、Zoom などのべ93件
- ② 調整支援：13件
- ③ ワークショップ：外部会議室、ブリッジ事務所にて12回開催、参加者延べ 27名
(2022/10/15、2022/11/27、2022/12/17、2023/1/21、2023/2/18、2023/3/11、
2023/4/22、2023/5/27、2023/6/24・25、2023/7/29、2023/8/19、2023/9/23)

2. 事例検討会の開催

ブリッジ両立支援ナビゲーター養成講座修了者を対象に事例検討会を3か月に1回(年4回)オンラインにて開催。

- 第1回(2023/5/28) 参加者10名
- 第2回(2023/8/20) 参加者9名

3. ブリッジ両立支援シンポジウム「医療と労働の連携のかたちから『治療とともに働く』を考える」の開催

- 2022年11月23日(水・祝)に会場・オンラインの同時開催
- 会場はウインクあいち 小ホール1。オンラインはZoom ウェビナーにて配信。
- 参加者195名(会場：57名、オンライン：138名)
- 参加者143名(回収率73%)からアンケート回答を得た。(別添報告書)

4. YouTube 動画「制度セミナー」の制作

- ① 正力厚生会 がん患者団体助成(2022年度)にて制作
「休職中の収入が気になるあなたへ」をテーマとした4本の動画を撮影
広報(チラシ、HP)
2022年10月公開
- ② 愛知県赤い羽根共同募金(2023年度)にて制作
「退職を考えているあなたへ」をテーマとした3本の動画を撮影
広報(チラシ、HP)
2023年9月公開

5. 「ブリッジ両立支援ナビゲーター養成講座」の開講（継続）
 - 2022年11月開講
 - 第1期（2022年11月～2023年4月）受講者12名。修了者10名（2名は継続）
 - 第2期（2023年5月～2023年10月）受講者11名。
 - 全14講座を修了した方のうちブリッジ会員に入会された方14名。

6. 休眠預金活用事業の終了
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）の休眠預金活用事業として2020年4月から2023年3月まで「愛知県におけるがん患者の就労支援モデル構築事業～医療と労働の連携を重視した包括的な就労支援体制の創出～」を実施（資金分配団体：公益財団法人日本対がん協会）。事業総額15,961,466円（うち自己資金4,050,169円）。
2023年3月末に事業終了、事後評価報告書を提出。

7. 赤い羽根福祉基金事業の開始
2023年4月より赤い羽根福祉基金事業として「社会との連携モデルによる仕事と治療の両立支援体制を社会システムへと定着させるための基盤づくり事業」を開始。3年間の事業を想定（単年度ごとに事業申請）し、第1年次（2023年度）は若年AYA世代患者の現状を把握し、連携支援のネットワーク構築を主の目標とする。
事業開始に伴い、名古屋市千種区にブリッジの事務所を構える。

8. 他団体主催の講演・活動協力
 - ① 共催する第10回がん就労を考える会に世話人として参加、ブリッジの活動紹介とパネルディスカッションへの登壇（対象：両立支援に関係する全ての人）（2022年10月）
 - ② 福井の医療機関（福井県済生会病院）にて両立支援の講演会の演者として登壇（2022年10月）
 - ③ 栃木の国際医療福祉大学セミナーハウスで行われた第8回那須栄養リハビリ研究会にて、演者として登壇（2022年10月）
 - ④ 令和4年 厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業 東海ブロック造血幹細胞移植推進拠点病院セミナー」で両立支援の講演（2022年11月）
 - ⑤ 岩手県北上地区の医療機関で両立支援の演者として講演（2022年11月）
 - ⑥ 企業における両立支援の取り組み推進のための研修会講師（2022年11月）
 - ⑦ 北海道函館地区の医療機関で両立支援の演者として講演（2022年12月）
 - ⑧ 富山県の医療機関で両立支援研修会の演者として講演（2023年1月）
 - ⑨ 大阪北河内医療圏の医療機関を対象に「がん患者さんの未来に寄り添う就労支援」と題したセミナーに登壇（2023年1月）
 - ⑩ 岩手県の医療機関を対象とした神経難病の両立支援セミナーに登壇（2023年2月）
 - ⑪ 中外製薬株式会社「World Cancer Day in Chugai」にて社内向け両立支援研修イベント

ト「がんになっても働き続けるために」の講師を担当（2023年2月）

- ⑫ （公財）日本女性学習財団キャリア支援デザイナーブラッシュアップ講座「治療と仕事の両立—女性の生涯にわたるキャリア形成の視点から」に登壇（2023年2月）
- ⑬ 岐阜県の事業所の公開研修会にて「病気と生きづらさに向き合って働くということ」をテーマに講師を担当（2023年3月）
- ⑭ 日本臨床腫瘍学会（マリンメッセ福岡）の会長企画シンポジウム1「経済毒性の現状と今後」に司会として登壇（2023年3月）
- ⑮ NPO 法人キャンサーネットジャパン「がんと性」のワークショップにてファシリテーターを担当（2023年3月）
- ⑯ 北海道の医療機関を対象とした「札幌がん就労・両立支援セミナー」に登壇（2023年5月）
- ⑰ 蒲郡市立ソフィア看護学校にて講義（2023年5月）
- ⑱ 栃木県の医療機関にて「血液がん患者さんの就労支援」という演題で講演（2023年6月）
- ⑲ 公益財団法人地域社会振興財団主催「第8回 栄養管理研修会」に登壇（2023年6月）
- ⑳ 茨城県の医療機関の主催する研究会にて「チーム医療は、患者さんを社会的にも救う！～仕事と治療の両立支援、それぞれの立場でできること～」と題した講演（2023年7月）
- ㉑ 四国生産性本部主催の「2023年度労使研究会 第5回例会」にて「なぜ必要？何が必要？治療と仕事の両立支援のために会社ができること」と題して講演（2023年9月）
- ㉒ 名古屋西労働基準協会主催の「令和5年度全国労働衛生週間説明会」にて「治療と仕事の両立支援 ～両立支援から企業活性化を拓く～」と題して講演（2023年9月）

9. スタッフ会議

- ① 運営会議：12回
- ② その他スタッフ会議：2回

10. 広報活動

- ① 患者向け情報配信：11回
- ② 支援者向け情報配信：11回
- ③ 対外的な広報・実績
 - (1) 11月23日開催の「医療と労働の連携の形から「治療とともに生きる」を考える」が、中日新聞、朝日新聞、中京TVニュース、Yahoo ニュース、ススメプロジェクトなど様々な媒体に取り上げられる（2022年11月）
 - (2) 厚生労働省「治療と仕事の両立支援ナビ」にコラムを執筆（2023年4月）
https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/column_04.html
 - (3) 中外製薬株式会社「病気と向き合う患者さんのライフステージに寄り添う情報

サイト「サステナブルドットライフ 社会人特集」にブリッジ所属の2名の筆者によるコラム4本が掲載（2023年4月）

https://www.chugai-pharm.co.jp/ptn/sustainablue_life/pickup/02.html

- (4) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」の2023年5月号の特集は「病気の治療を続けながら働ける会社へ」。この冒頭の総論4ページを寄稿（2023年5月）
- (5) 名古屋市「がん対策専門部会」に委員として出席（2022年12月、2023年9月）

11. 受賞

賀川豊彦賞（2022年12月）

以上